

二年五月十二日(水) 南日本新聞「ひろば」

幸せだなあ

松山小6年

ぼくは、6年生になつて幸せだなあと思うことがとても多くなりました。なぜなら、集団登校するとき、毎日、1年

生の男の子が「ねえ、りつくん、りつくん」と、手をつないでくるからです。ぼくの手は、ちゅめたいでしょ」と、言っていました。男の子とぼくは身長のさが、かなりあるので、毎日ぼくの顔を見るためにジャンプしながら笑っています。ぼくのランドセルにつかまっています。

生の子が「ねえ、りつくん、りつくん」と、手をつないでくるからです。

ぼくが先頭で歩いていると、ぼくの横に来て手をつなぎ、「一緒に行こうよ」と言ってきます。

特に今日の朝は、両手をつかんできて「りつくんの手はあったかい。ぼ

これから集団登校をがんばっていききたいです。

(志布志市)